

# フォレストニュース

植林が地球を救う

平成27年(2015)4月10日

No. 88

発行 高津啓洋

## 地球環境を守る緑の植樹

3月28日(土)パンタナール一日研修会が、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。パンタナールにおける植樹が拡大するとともに、研修会もより充実してきています。

当日は、天候に恵まれ、桜の開花が進み、午前中は2分咲きほどの桜も、午後には満開なような華やかさで、研修会を歓迎しているようです。高津啓洋代表も、庭内の木々の解説にも熱が入るもので、

タブノキをはじめ、土地本来の木々が育つ環境の中で、フィールドワークが行われました。

その後、セミナールームでの、地球を守る木々、緑の大切さを、参加者とともに共有することができました。



桜の花も満開に

会場のオリンピック記念青少年センター(代々木)では新社会人となるフレッシュな青年達の研修会があちこちで開かれ、私達の研修会も大変明るい雰囲気の中で行われました。43名の参加者の内、新しく10名の青年達が参加し

たことは、これからの私達の希望となります。また今回特別に、長い間レダ開発に携わって来た佐野道准さんと青年を代表してレダで歩いて来た坂井孔紀君が報告をしました。佐野さんからはその開拓の歩みと苦労してきた内容に皆心から感謝し、深い感動を覚えていた。



坂井君は、レダでの活動報告の中で、豚を育ててきましたが、彼らとも心を通わせれば、答えてくれますと、体験の一部を話していました。参加者の感想では、「散歩を兼ねた高津先生の植生実地講座、とてもよかったです。坂井さんの養豚の話もよかったです。レダの話はいつも希望的で心が温かくなります」(女性・55歳)

## 伊達さんレダへ出発



伊達勝見さんが、3月31日にパラグアイに向け、成田を出発しました。4月1日にはアスンシオンに到着します。今回も、あら

ゆる植樹のための資材を、目いっぱいトランクにつめて出発しました。

日本時間では、4月2日ですが現地では、4月1日に無事にアスンシオンに到着しましたと、伊達さんからメールが送られてきました。

緑の会の仕事をしている、ビクトルさんの家族です。レダで2ヶ月間仕事をして、家に戻っていましたが、再びレダに行きます。

奥さんは、4人目のお子さんを7月に出産する予定です。



最近アスンシオンも雨がよく降りますが、水はけの悪い道路は、すぐに雨水がたまります。来年には市電を走らす計画もあるとか。



事務所から見た街の様子